

II. 事業評価個表（令和元年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称					
4	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	十和田市総合体育センター移動式バスケットゴール更新事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		十和田市					
交付金事業実施場所		十和田市西三番町					
交付金事業の概要		十和田市総合体育センターバスケットゴール（移動式、1式）更新 十和田市総合体育センターのメインアリーナで使用している移動式バスケットゴールは、平成6年の開館時から24年が経過し、長年の使用により、ゴールの台座に歪みが生じ、2対のうち1対を平成30年度に更新しましたが、2対必要とされることから、交付金を充当し、利用者の安全や利便性の向上に努めます。					
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【主要政策・施策】 第2次十和田市総合計画 施策17「生涯スポーツ環境の整備」 利用者が安全で快適にスポーツ活動に取り組むことができるよう、スポーツ施設の適切な維持管理を図る</p> <p>【目標】 スポーツイベントへの参加率32%（平成32年度）</p>					
事業開始年度		平成30年度	事業終了（予定）年度		令和元年度		
事業期間の設定理由		十和田市総合体育センターの移動式バスケットゴール2対を1対ずつ2か年で更新					
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度	
		総合体育センターの利用者数の維持	<small>（令和元年10月～令和2年9月の利用者数） / （平成29年10月～平成30年9月の利用者数）</small>	成果実績	%		
				目標値	%	年間利用者数の比率100%	
				達成度	%		
		評価年度の設定理由					
		事業前、事業後の利用実績（トレーニング室を除く）を踏まえて評価するため。					
		交付金事業の定性的な成果及び評価等					
本交付金の活用により十和田市総合体育センターの老朽化で歪みが生じ、支障を来していた移動式バスケットゴール2対を平成30年度と令和元年度で1対ずつ2か年での更新を完了することができました。このことで、利用者の利便性や安全性が高まり、大会等の安定的な開催、施設運営が一層図られるようになりました。							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標			単位	平成30年度	
		更新する移動式バスケットゴール数		活動実績	対	1	令和元年度
				活動見込	対	1	1
				達成度	%	100	100
交付金事業の総事業費等		平成30年度	令和元年度	年度	備考		
総事業費		5,529,600	5,000,000				
交付金充当額		5,500,000	5,000,000				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		5,500,000	5,000,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方			
備品購入		指名競争入札		株式会社小川長春館 東北営業所			
契約金額		5,508,000					
交付金事業の担当課室		十和田市教育委員会 スポーツ・生涯学習課					
交付金事業の評価課室		十和田市教育委員会 スポーツ・生涯学習課					